

対象 40歳以上の方

受診間隔 1年度に1度 受診しましょう

大腸がん 検診

検査内容 問診、便潜血検査

●便に血液が混じっていないかを調べる検査です。

※病変から常に出血しているとは限りませんので、精密検査の代わりに「便潜血検査」を繰り返すことはできません。

精密検査といわれたら、医療機関では以下のような検査があります
(医師の指示で内容は変わります)。

全大腸内視鏡 検査^(*)

肛門から内視鏡を挿入して大腸、S状結腸内を詳細に調べます。検査は20分程度で終わります。ポリープ等の病変が見つければ、病変の一部を採取して悪性の有無を調べることもあります。

注腸エックス線 検査

肛門からバリウムと空気を注入し、エックス線写真を撮ります。がんやポリープなどの正確な位置や大きさ、腸の狭さの程度などがわかります。

※全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になります。



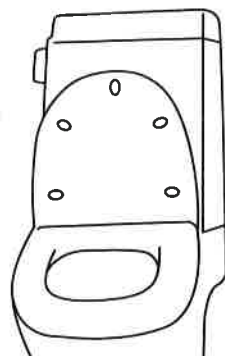
早期発見でほとんど完治

大腸がん

便潜血検査

満40歳以上 年1回

便の表面を採便用の棒で採取し、血液が混ざっているかを調べる検査。目に見えないわずかな出血も検知することができます。「陽性」と判定されたら必ず精密検査を受けましょう。



保健福祉センター等、健康づくりサポートセンター、実施医療機関→500円

大腸がん検診

2日間採便による便潜血検査

1年度に
1回



対象年齢

40歳以上

受診場所・料金

A 500円

B 500円

C 500円